

【試合結果】

男子 決勝トーナメント		決勝															
日時	平成28年12月25日(日)		13:00 ~														
会場	苫小牧市総合体育館																
結果	苫小牧勇払中 胆振	45	札幌 清田中 札幌 68														
		<table border="0"> <tr><td>6</td><td>-</td><td>27</td></tr> <tr><td>12</td><td>-</td><td>9</td></tr> <tr><td>7</td><td>-</td><td>23</td></tr> <tr><td>20</td><td>-</td><td>9</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	6	-	27	12	-	9	7	-	23	20	-	9		OT	
6	-	27															
12	-	9															
7	-	23															
20	-	9															
	OT																
審判	主審 浜本 伸		副審 石黒 晋														

第31回北海道中学校バスケットボール新人大会



【ボックススコア】

苫小牧勇払中		胆振						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	多田 悠馬	×	17	1	6	2	5	1
5	八木橋 佑哉	DNP	0					
6	0	DNP	0					
7	佐藤 虎汰	×	0	0	0	0	1	1
8	浅井 明寿加	DNP	0					
9	北村 陸	DNP	0					
10	橋畑 魁	/	4	0	2	0	9	2
11	吉岡 渉	×	4	0	2	0	2	2
12	大野 毅人	×	12	1	4	1	0	2
13	三浦 大陸	DNP	0					
14	杉本 幹太	×	8	0	3	2	0	5
15	中道 史哉	DNP	0					
16	山田 健心	DNP	0					
17	北村 駿貴	DNP	0					
18	0	DNP	0					
HC	関 祥子							
合計			45	2	17	5	17	13

札幌 清田中		札幌						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	藤岡 大翔	×	4	1	0	1	2	3
5	奥村 飛龍	×	18	0	5	8	12	2
6	瀧山 歩	×	14	0	7	0	7	2
7	前田 峻	×	6	2	0	0	3	0
8	篠原 隆世	/	0	0	0	0	0	1
9	岩根 光哉	/	0	0	0	0	0	2
10	高橋 泰志	×	20	0	10	0	6	0
11	畠中 翔麻	/	0	0	0	0	0	0
12	網島 豪	/	3	0	1	1	0	1
13	大長 宜興	/	0	0	0	0	0	0
14	吉持 優哉	/	1	0	0	1	0	0
15	川村 亘	/	2	0	0	2	0	0
16	亦野 翔太	/	0	0	0	0	1	0
17	佐藤 奨真	/	0	0	0	0	0	0
18	菅原 静仁	/	0	0	0	0	0	0
HC	高橋 和也							
合計			68	3	23	13	31	11

出場 ×:スターター /:途中出場 DNP:出場なし  
 得点 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー

【選評】

地元開催で決勝に進んだ苫小牧勇払と順当な勝ち上がりの札幌清田の決勝戦。清田 #10 のドライブで先制。勇払も #12 のショットで反撃。1Q目はトランジションに勝る清田のペース。#6 の連続ショットで清田 13 - 2。たまたま勇払1回目のタイムアウト。勇払は清田のしつこいディフェンスに攻め手が無い。その後も勇払はバックコートでトラブルを重ね、たまたま1Q残り15秒で2回目のタイムアウト。結局 27 - 6 清田リードで1Q終了。

2Q、勇払 #14 のバスケットカウントでスタート。#4 のポストプレーも決まり、ディフェンスプレッシャーを強めて流れを変えにかかる。リバウンドを拾い出した勇払と #5 の1対1で点数を重ねる清田。2Q目は一進一退の攻防が続き、36 - 18 清田リードで後半を終える。

後半、清田は #4 の3P・#10 のポストプレーで加点、引き離しにかかる。勇払は #4 の1対1を起点に対抗するが、点差が縮まらない。51 - 22 で勇払はタイムアウトをとるが、清田の流れは変わらず、59 - 25 で3Q目を終了する。

最終ピリオド、勇払は #4 のインサイドにボールを集める。体格に勝る勇払は力強いポストプレーやドライブで反撃を試みる。しかし、清田は選手を入れ替えながらも、ディフェンスのしつこさ・トランジションの徹底で上回り、結局 68 - 45 でゲーム終了。清田が南大会優勝を決めた。